

常任委員会審査 Q & A



旭市議会
会議録検索
システム

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。詳しい内容を知りたい場合は3月中に掲載予定の会議録をご覧ください。

建設経済常任委員会

和解及び損害賠償の額を定めることについて(議案第19号)

Q 観光街路灯の落下は劣化によるものなのか。

A 落下は劣化に伴うもので、平成2年から6年にかけて、旧飯岡町で整備したものを平成14年度から順次、更新してきたが、未更新だったものが台風によって落下した。

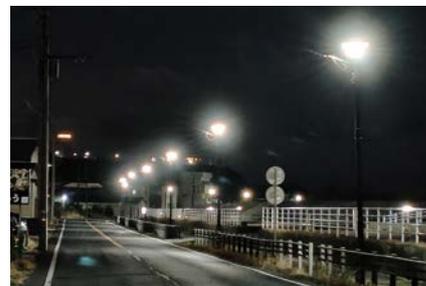
Q 観光街路灯は何基設置されているのか。

A 観光街路灯は三川地区の目那川から飯岡漁港に至る箇所と国道

126号から飯岡刑部岬展望館に至る市道に連続して、全体で114基設置している。

Q 損害賠償額131万9713円の内訳は。また、事故の状況を伺う。

A 修理費が86万3711円、代車代が42万5700円、レッカー費が3万302円。代車代については、業者がお盆休み期間中であり、期間が長くなったため、高額となった。事故はいおかみなと公園から漁港方面へ向かう途中、落ちた街路灯が車に当たったというもの。



114基設置されている観光街路灯

審査結果

委員会付託の3議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

文教福祉常任委員会

令和7年度旭市一般会計補正予算の議決について(議案第1号)

Q 3款1項2目 民生費の自立支援給付事業について、当初予算から増となった理由は。

A 共同生活援助給付費は、当初116人を見込んでいたが、上半期の状況から最終的に122人の利用を見込んでいる。障害のある方が症状の悪化や、退院から在宅になる間のグループホームの利用という形で増えている状況。また、生活・療養介護給付費は、当初189人を見込んでいたが、

最物終的には192人の見込みとした。工事請負契約の締結について(旭市立ひかた椿小学校統合大規模改造工事(建築))(議案第18号)

Q 現在、どこの自治体でも、物価高騰により落札できない状況が続いている。2者が4億8000万円台で見積りを提出しており、工事が進む中で補正が必要になる状況になることも考えられるが、そういうことがないように執行してほしい。

A 物価高騰や工事の中で変更等があった場合は、約款に基づき工

事業者と管理業者、市で協議を行いながら工事を進めていく。大規模な改造工事であり、仕様の変更や数量の増減など発生することが想定されるが、定期的に数量の増減などチェックし、軽微な調整を進めておき、大幅な金額の増減や工期の変更等が生じた場合には、契約変更ということになる。

審査結果

委員会付託の9議案について、議案第11号、第18号は賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決。

総務常任委員会

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第10号)

Q 海上健康増進センターは高齢者の利用が多く、利用を楽しみにしているが、改定幅が大きいと感じる。アクティブシニアを増やしていくという市の政策がある中、施設を利用することで医療費や介護、福祉に係る金額が抑えられると思うが、そうすると今回の値上げは政策的に違いがあると思われるが、いかがか。

A まずは、施設の維持管理費が上がっている。施設の利用者の負担はそのまま、増えた分を利用しない人からの税金で賄うのは、どうかという考えがある。それについては、利用者負担と税負担のバランスを取りながら料金を上げる。そのため、アクティブシニアを増やす政策をないがしろにするわけではない。

Q 長熊釣堀センターについて、利用者が離れている状況である。市外利用者の料金を大きく上げているが、どのように研究検討したのか。

A 過去3年間の平均原価は、維持管理経費を利用者数で割った1315円と算出している。利用者負担割合を100%とし、施設利用者の9割以上が市外であることから、新たに市民と市民以外の区分を設け、市民は据え置き、市民以外は1300円とした。

審査結果

委員会付託の9議案について、議案第10号は賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決。